



## 「なんでだろう?考えたい」と思える道徳科の授業

### — 子どもの問題意識に焦点を当てて —

名古屋市道德研究会 授業づくり研究部会 部長  
名古屋市立庄内小学校 根本 貢太



本年度、名古屋市道德研究会の授業づくり研究部会では、子どもたちが「授業が終わっても考え続けたい」と思えるような、問題意識に焦点を当てた研究を進めています。ここでは、実践した道徳授業を紹介します。

### 「考えたい」と進んで議論できるようにするポイントを紹介!

話合いで、内容がねらいからずれてしまったり、時間を持て余してしまったりすることはありませんか。原因の一つに「考えたい」という気持ちが高まっていないことが考えられます。そこで、子どもに問題意識をもたせ、自ら「考えたい」という気持ちを高める「導入」と、その高まった気持ちを十分に生かすことができる「議論を生み出すための工夫」を関連させることに重点をおくことを考えました。

## 第6学年「コスモスの花」(B 友情、信頼)での実践例

### 導入

#### 児童の感想から「問い」をつくる

児童は、事前学習で教材の内容を把握し、感想を提出。感想を基に問いを3つ程度に絞りました。

- ① 人によって考えが分かれそうな問い
- ② 教材の読み取りだけでは答えが出せない問い
- ③ 児童が考えてみたいと感じる問い

という視点で、教師と子どもの対話を通して決める。

「次のサッカーのとき、顔めがけて思い切りボールをけてやるか」と、声は、ちがうと思った。

10月10日 10:17

北山くんの方がぼくより目立っていたからぼくは「北山なんてー」と言ったと思う。

10月10日 10:18

主人公は途中北山君が目立って気に入らなかつたけど最後にやめるよといった。そのあいだがきになる  
主人公はあまり目立たない北山に嫉妬してしまっていた

友達大事!(;^ω^)(これしか思いつかないよお)

【提出された感想の一部】

次の問いを授業で立て、考えたい問いを自分で選択。

- ① ぼくは、どのような思いで「もっと、がんばれよ」と言ったのか。
- ② 「北山なんてー」に続く言葉は何か。
- ③ ぼくは、どのような思いで「やめろよ!」と言ったのか。

### 議論を生み出すための工夫

#### 対話の方法を自ら選択する「フリー対話」

「何を」「誰と」「何人で」「どのように」対話するかを児童に委ねることで、主体的な対話活動へとつなげました。

例① セルフ対話 (カードに考えを記述する)

例② 相手を選んでの対話 (二人で・二人以上で)



例① セルフ対話



例② 相手を選んでの対話 (先生)



例② 相手を選んでの対話 (友達)



例① セルフ対話

#### 【授業後の児童の感想の一部】

- ・ 友達について深く考えたことはなかった。相手を大切に思い合っていることが友達の証だと授業で学んで思った。
- ・ 友達は、自分に都合のよいだけの存在ではないし、自分と違う考えをもっていることもあった。
- ・ 「ぼくはもっと上にいってやる!」という気持ちで互いに成長していけばよい友達関係だという、新しい発見があった。

紙面では紹介しきれなかった詳しい内容は、

**令和6年1月23日(火) 14時45分～ (ウィルあいち 大会議室)**

の研究発表会にてお伝えします。奮ってご参加ください。

12月12日(火)、1月10日(水)、2月14日(水)の18時半より教育館にて学習会が行われています。参加を希望される方は、南区 桜小学校 <sup>やまべ</sup>山部あゆ (IP 電話 3205) までご連絡いただいても、直接お越しいただいても構いません。ご参加お待ちしております。